

～創立 79 年の伝統と歴史のある高砂市立荒井中学校～

令和2年4月に教頭として着任し、令和6年4月には立場を変え、荒井中学校の校長として2年目を迎えました。

これまで同様、保護者の皆様や、地域の方々から温かいご支援・ご協力をいただけるよう粉骨砕身、努力して参ります。

令和6年度は、新制服採用の年となり新入生はブレザー型の制服に身を包んで入学してきました。令和4年に制服を見直す時期にきているとの意見が学校運営協議会で出され、生徒会だけでなく地域からのアンケートの結果をもとに、新たな制服が作られましたが、生徒達は夏のポロシャツも含め、その時期の気候に応じて様々な形でブレザーの制服を着こなしています。性の多様性の問題だけでなく、新たな荒井中学校の形を作り出してくれています。

また、本校は1人1台のタブレット端末を活用した基礎学力調査(TOFAS)や、AI 型学習「Qubena(キュービナ)」を導入する等、生徒の学力向上のために ICT の活用を積極的に推進してきました。そして、ICT の活用に加えて、協働的な学びのスタイルである「協同学習」「知識構成型ジグソー法」など、令和の時代にふさわしい授業デザインの創造をめざしています。

時代は令和へと移りかわり、ますます混迷を深める社会の中、荒井中学校生は、予測できない社会にあっても、自ら考え、行動できるたくましさを培おうとしています。

令和7年度は、学校行事をはじめ、多くの教育活動をより自由に、自主的に行いたいと考えています。そして、多様な学びの機会においても、生徒一人一人に寄り添い、生徒の進路実現において、教職員が一体となって全力で支援する所存です。

高砂市立荒井中学校長 藤久 兼康



学校教育目標

「自ら考え、行動することができる生徒の育成」

(命と人権を大切にした教育の展開)



経営方針 5つの「安心」～アフターコロナを迎えて～

- 学校に通う「安心」
- 学校に通わせる「安心」
- 授業がわかる「安心」
- 教師や友だちからわかってもらえる「安心」
- 居場所がある「安心」